

災害への備えと避難所の過ごし方

この度の能登半島地震により被害を受けた方々に、心よりお見舞い申し上げます。
また、亡くなられた方々へ哀悼の意を表し、ご遺族に深くお悔やみを申し上げます。
富士見市で災害が発生した際の対応についてのご質問に応え、このチラシを作成しました。

能登半島地震を受けた富士見市の対応

1. 人的支援：家屋の危険度評価を行う職員3名を派遣。
2. 物的支援：備蓄用水、給水車、簡易トイレを提供。
3. 財政的支援：各公共施設に義援金箱を設置。



災害への備え、今すぐできること！

- ①自宅に置く備蓄品の準備をする
(水、食品、医薬品など)
- ②避難所の場所と行き方の確認をする
(各町会ごとに避難所を限定していないため、
複数の場所を事前に把握しておくことが重要)
- ③自宅の耐震化の準備をする
 - 木造住宅の簡易耐震診断 (建築指導課)
 - 耐震改修後の住宅に対する固定資産税の減額措置 (税務課)
 - 家具転倒防止器具の取付け支援 (危機管理課)



耐震化のメニューが充実しています💡

参照：富士見市防災ガイドブック（市HPより）



避難所での過ごし方 QandA



女性のための支援



生理用品などの物資の配布はどうなるの？

女性の物資担当者を配置。
女性用下着や生理用品の配給、
女性が必要とする物資の要望を受付。
ニーズに応えるため、女性専用相談窓口を設置。

避難所運営
マニュアル



避難所の防犯対策はどう考えているの？

女性専用スペースを確保（更衣室・授乳スペース）
長期化した場合、女性専用の物干し場所、トイレも設ける。
女性専用スペースは防犯のため案内表示に工夫を行う。
夜間には、照明の設置や見回り等も検討。

避難所運営
マニュアル

ペットと暮らす市民のための支援



避難所にペットは連れて行けるの？

同行避難は可能。
ただし、屋外でケージ等での飼養となる。
※ペットと同室での避難はできないこと、
ケージに慣れる練習が必要であることに注意

避難所運営
マニュアル